



第6回 ホームホスピス実践者育成塾

一般社団法人 全国ホームホスピス協会

ホームホスピス実践者育成塾は、「理念の共有」と「ケアの向上」を目指して2017年より実施している研修会で、今年6回目を迎えます。ホームホスピスの運営者、管理者、スタッフに加えて「ホームホスピスの学校」の受講生、また、ホームホスピスに関心があり、近い将来に開設したいと考えている方にも実践的で有用な研修会です。

とくに今回は現場力を高める内容で、技術面の向上をはかることを目的に、気持ちよく出す排便のケア、目からウロコの古武術介護、現場で生かす聞き書きの3つに絞った、即戦力となるプログラムとなっています。講師は皆様にも馴染みのある、それぞれの分野で第一線に立つ先生方に要請し、会場では実技を中心に学んでいきます。

昨年につづき今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため2日間に集約し、会場とオンラインによるハイブリット形式で開催します。皆様の参加をお待ちしております。

■日 時：2022年7月1日（金）：13：30～17：30（13:00より会場受付開始）

2日（土）：9：30～15：30

■会 場：小松市公会堂（〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町32 芦城公園の中にある多目的ホール）
会場参加とZOOMを用いたオンライン配信

■定 員：会場50名／オンライン視聴50名

*オンラインで参加される方は、インターネットに常時接続できる環境や、ZOOMを起動させるためのパソコンやタブレット等の機器をご用意ください。

■対象者：正・準会員、賛助会員、ホームホスピスの学校受講生

ホームホスピスに関心のある方や開設を考えている方など。なお、一般の方が参加される場合は、賛助会員（年会費5,000円）になっていただきます。

■受講料：6,000円

■申込方法：協会ホームページから「申込みはこちら」をクリックし、PassMarketにてチケットを購入

■締 切：6月10日（定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます）

・研修参加のためのURLやパスワードは、メールにて連絡します。

事前に seminar@homehospice-jp.org が受信できるよう設定をお願いします。

・参加費の入金確認ができ次第受付完了となります。お早めにお申し込みください。

・会場参加の場合、昼食、宿泊は各自で手配してください。ただし7月2日は、事前に弁当の予約を受け付けます。

・申し込まれた方の都合でキャンセルされた場合、原則、返金はできません。

・申し込み後、開催日1週間前までに協会から連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください。

・なお、COVID-19蔓延のため緊急事態宣言発動などの状況次第で、オンラインのみに変更になる場合もあります。

【お問合せ先】

一般社団法人 全国ホームホスピス協会事務局（月～金 10:00～17:00）

〒880-0913 宮崎市恒久2-19-6
TEL 0985-65-8087 FAX 0985-53-6054
email seminar@homehospice-jp.org



ご案内ページ

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

第6回 ホームホスピス実践者育成塾プログラム

7月1日（金） オンラインと会場の併用

時 間	テーマ	内 容	講 師
13:30～	挨拶	全国ホームホスピス協会の理事長によるご挨拶	市原 美穂
13:45～15:15	気持ちよく出す 排便のケア	食べる、寝る、そして出す。介護する側もされる側も、常に3つの悩みは尽きません。でも、その内1つが改善すればあとの2つの改善につながり、生活の質は格段に上がります。マッサージをはじめスツキリのコツや副交感神経を高める体操、食事などコンチネンスケアの第一人者が実践を交えて教えてください。	榊原 千秋
15:25～17:30	ワークショップ 事例を持ち寄って	困難事例こそがいちばんいい先生。「じつはうちでも……」困ったこと、心配なことなど持ち寄って、みんなで考えましょう。	ファシリテーター・ 松本 京子 ／協会理事

7月2日（土） オンラインと会場の併用

時 間	テーマ	内 容	講 師
9:00～11:30	目からウロコの 古武術介護	「介護は力、もっと鍛えなきゃ」と思っていないですか。手のひらをかえして手の甲を使うだけで、動かなかったものがスムーズに動く。筋力に頼らない古武術の合理的な動きを参考に、腰を痛めるその前に介護者と被介護者に対して負担のない技術を学びます。会場では実際にやってみながら、古くて新しい古武術介護を体験します。	岡田慎一郎
11:30～12:30	休 憩		
12:30～15:30	現場で生かす聞き書き	聞き書きの実践講座。聴く技術は他者とのコミュニケーションの第一歩。小田先生が相手の話に耳を傾ける様子を視聴しながら、聞き書きの真髄を学びます。さらに、それを聞き書きの文体でまとめ、小冊子にする技術を習って、現場で役立てましょう。 天野先生は金沢大学の名誉教授、そして小田先生の一番弟子です。学生たちに教えるように、すぐに使える7ミニッツ聞き書き、即戦力の技を教えてください。	小田 豊二 天野 良平

□講師プロフィール

榊原 千秋	コンチネンスケアおまかせ うんちっぴ代表 (同) プラスぼぼ代表	保健師、助産師、コンチネンスアドバイザー。「いのちにやさしいまちづくりネットワーク」を設立。がん患者・家族の支援活動・聞き書きサークルなど幅広い地域活動への貢献に対して、2015年、保健文化賞を受賞。「うんこ文化センター」を主宰し、去年は「うんこ文化学会」を立ち上げるなど大活躍。全国でコンチネンスケアの普及をはかる。
岡田慎一郎	理学療法士、介護福祉士 介護支援専門員	身体障害者、高齢者施設に勤務し、独自の身体介助法を模索する中、古武術と出会い、古武術の身体運用を参考にした「古武術介護」を提案。近年は介護、医療、リハビリ、育児支援、教育など、幅広い分野で身体を通じた発想と実践を展開させ、講演、執筆、企業アドバイザーなど多岐にわたる活動を行う。
小田 豊二	作家、編集者 聞き書き学校副校長	出版社・デザイン会社勤務を経て、故井上ひさしの劇団「こまつ座」に参加。機関紙「座 the」の編集長を務める。ドキュメンタリーや聞き書きによる著書多数。現在、看護学校や企業のCSR活動でボランティアの講師を務めるなど、多方面で聞き書きを展開している。全国各地からの要請に応じて行脚し、やさしいコミュニケーションツール聞き書きの輪を広めている。
天野 良平	金沢大学名誉教授 日本聞き書き学校講師	金沢大学医療技術短期大学部（前身）で教鞭をとり、平成8年金沢大学医学部保健学科教授になる。途中2年間（フランス留学）を除いて、一貫として金沢大学の教壇に立ち続ける。2009年より聞き書き活動を始め、現在、日本聞き書き学校の伝道師として聞き書きの種をまいている。
松本 京子	全国ホームホスピス協会副理事 神戸なごみの家代表	阪神淡路大震災まで神戸市立西市民病院勤務。避難所の支援活動を経験した後に在宅看護の道にすすむ。2008年、(株)なごみ設立と同時に訪問看護ステーションあさんで開設。2011年、NPO法人「神戸なごみの家」を設立。現在、ホームホスピスなごみの家、雲雀丘、中津庵、夢野を運営する一方、暮らしの保健室なごみサロンを開くなど地域活動を展開している。



榊原 千秋



岡田慎一郎



小田 豊二



天野 良平